



こんにちは。釋紗音です。
2014年が やってまいりました。
今年もどうぞよろしくお願い致します。
1月16日は、浄土真宗の開祖 親鸞聖人のご祥月命日です。
『御正忌報恩講』と呼ばれ、本山では毎年1月9日から
1月16日まで盛大な法要が執り行われます。
もちろん別院や各寺院、自坊でも行う 浄土真宗が最も
大七かしている法要です。
今回は、当時9才だった親鸞聖人が青蓮院で夜も更
けているので「得度式を明日にしようとおっしゃった 慈円和尚
に大し言永まれたと伝えられている歌をご紹介します。

明日ありと思ふころのあだ桜

夜半に嵐の ふかぬものかは

私たちの人生というのは、あの桜の様に満開でも 明日
には嵐が来て散ってしまうかもしれない、どうなるか分か
らない人生である。

だから今日得度式を行ってほしいという親鸞聖人の
お言葉を聞いた慈円和尚は すぐに得度の手配をされ
たそうです。

私達はいつなにかがあるか分からない無常な人生を送
っています。いつかは命尽きると分かっていながら、まだ
まだ先の話だと思ってしまう自分がいます。

明日は当たり前に来るものだと思いますが、皆明日は
分からないのです。辛い事の様ですが、そう思うと当り前の
事が当り前ではなく、更に輝くはずです。

仏法は生きている今遇うことが大切で、
聴聞を重ねる事で、自然と自分と向き合う事ができます。
御正忌報恩講は、そんな尊い教えを私達に伝えてくださった
親鸞聖人の遺徳を偲ぶと共に、阿弥陀様に守られた
身にあることを改めて感謝する法要でもあります。

生かざるる
いのち尊し
けさの春

2013
10月10日

秋季永代経法座
講師：住職



お参りいただいた
ご門徒の皆様と
共に「仏説阿彌陀經」
をお勤めました。「本願他力」を法題
に住職の法話がありました。
その後、プロジェクターを使って『絵とき
親鸞伝絵』を観賞しました。



神戸別院で自死に向き合ういま、私にでき
ることをテーマに僧侶研修会があり住職
と参加させて頂きました。自死で大切な人
を失った方や遺族に対し、僧侶として何が
できるのか、装束をはずし、一人の人間としてどう
向き合うのか、考えさせていただく事ができました。



「極楽へのいざない」を
観賞してきました。
迎講、来迎会、練り供養
などの浄土美術品の優品
を拝観し、法会の歴史に
触れました。木曜夜浄土を
この世で見るようでした。



住職が玉野市仏教会会長に
就任しました。
11月18日、久昌寺様を会所に
「禪の教えと概要」をテーマにした行事が開催
されました。豊昌寺様の指導により禪の教えを学
び、座禅を糸組みました。本堂内には、警策
(けいさく)の音が響き渡りました。

住職の法話

明けましておめでとうございます。
皆様には、すっすっしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
年の瀬は大掃除、買い物などお忙しいことであつたと思ひますが、
その分気持ちの良い年明けを迎えることができたのではないしょうか。
とうとうお正月は多くの方が神社へ初詣に参られますね。そして、
その多くが神様に願ったり頼んだりのお参りですね。しかし私達の
宗旨は浄土真宗なので、神社へ参るのではなく、ご家族
揃って綺麗にお飾りされたお仏壇にお参りいたしましよ。う。
私達らの仏様は私が頼まなくても、いつもあなたと共に歩いて下さいます。
そして、うれしい時は共に喜び、悲しい時は共に悲しんで下さいます。
私が頼まなくても、仏様から頼られている私であつたのだと気付かせていた
ださしよ。今年も報恩感謝の念仏生活をお過ごし下さい。



おしえて住職
Q&Aのコナ

浄土真宗では、なぜ仏弟子である
ことをあらわす名前を戒名ではなく、
法名と呼ぶのですか？

戒名は厳格な戒律を守って自力
修行で悟りを目指す人がいただく名前
です。戒律を守り抜くことが難しい
私達凡夫は、阿弥陀様の本願力
によって皆平等に救っていただくので
戒律はなく、戒名とは呼びません。
「法名」は、戒律に重きを置くのではなく、
聞法(聞く・問う・考える)を大切に
宗教的自覚をもって
日々を送らせて頂く
仏弟子としての名前
なのです。



小豆島のオリブ畑にひっそり
とある、オリブのリーゼント。



小豆島の島民が力を合わせて作った
約8万個の醤油のたれ瓶アート。



本島のオブジェから見る
青い海...



アルミ踏で覆われた惣光寺の
本堂。



海水入りのガラス瓶で作ら
れた作品。貝がくっついていることも...



高見島の海のテラス。
パスタも美味しかったです。



かつて除虫菊栽培で栄えた
高見島で巨大欵取り緑舎の作品。

2013年
芸術祭の
写真よ、これにて
終了です!!
次は何を
撮ろうかな?

お知らせ



御正忌報恩講法座
●日時●平成26年1月13日(月)午後1時より
●場所●法親寺本堂 ●講師●住職
●法題●「親鸞聖人のみ教え」